

道徳の時間で活用する
～親切、思いやり～

岩国市立由宇小学校 高塚 正昭

1 本場面におけるポイント

- 「行為の意味」（宮澤章二）の詩や、ACジャパンの広告やCMを取り上げることで、「思い」を「カタチ（＝行動）」に移そうとする意欲を高める。
- 「わたしたちの道徳」にある挿絵を見て、どんな気持ちか、どのようなカタチになっているのかを考えたり、実際に困っている場面を見かけたらどう行動すればいいのかを考えたりする。
- 「最後のおくり物」を読んで、ジョルジュじいさんの行動について話し合うことで、本当の「思いやり」について考えを深める。

2 授業の実際

1 主題名 相手の立場に立って親切に

2 ねらい

思いを行動で示そうという意欲を高めた上で、実際に自分はどのような行動をすればいいのかを考えたり、「最後のおくり物」のジョルジュじいさんの行動について考えたりすることで、本当の「思いやり」について考えを深めることができるようにする。

3 展開（2時間） 「私たちの道徳」（P60～62、P66～69）活用

- (1) 詩「行為の意味」で「思い」を「行動」に移すことの大切さを知り、「思い」をどう「行動」に移せばよいか話し合うことで、「行動」で示そうとする意欲を高める（1時間）。
- ① ACジャパンの広告を見て、話し合う。
 - ② 「心」と「心づかい」の違い、「思い」と「思いやり」の違いについて発表し、思うだけでなく、実際にカタチにする（行動で示す）ことの大切さに気付く。
 - ③ 挿絵やACジャパンのCM「見える気持ちに」動画を見せて、「どんな気持ちか、どのようなカタチになっているか」考え、発表する。
 - ④ 自分たちもこれまで「思い」をカタチにしてきたことを全体で共有する。
 - ⑤ 身近な生活の中で誰かに「思い」をカタチにできそうなことを考える。
- (2) 「最後のおくり物」を読んで、ジョルジュじいさんの行動について話し合うことで、本当の「思いやり」について考えを深めることができる（1時間：本時）。

学習活動・内容	予想される子どもの反応	教師の働きかけ
1 登場人物と話の流れを確認する。 ・主な登場人物 ・あらすじ	・ロベータ…劇団の俳優になるのが夢。お金がなくて困っている。 ・ジョルジュじいさん…守衛をしている。応援したい。	・話の内容と、各場面の状況を児童全員が把握できているかを確認するために、主な登場人物とあらすじを確認する。
ジョルジュじいさんの立場になって考えよう！		
2 ジョルジュじいさんが、ロベータに「おくり物」をしていた理由やその渡し方について話し合う。	<div style="border: 1px solid black; padding: 2px;">自分が倒れるまでおくり物をした理由</div> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の夢を重ねているから。 ・自分の分まで頑張っていたから。 	・行動の裏にある理由を問うことで、ジョルジュじいさんの思いを考えさせたい。

<p>(1) あまり親しい関係ではないのに、なぜ自分が倒れるまでおくり物をしたのですか？</p> <p>(2) 直接渡さずに、相手に気付かれないようにおくり物をしたのはなぜですか？</p> <p>3 本当の「思いやり」について話し合う。</p> <p>4 振り返りをノートに書く。 ・自己を見つめる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・頑張る姿をみて感動したから。 ・自分の息子のように感じているから。 <p>気付かれないように毎月渡した理由</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あまり親しくない人から、「お金をあげる。」と言われると、相手も遠慮して受け取らないかもしれないから。 ・だれか分からないようにして渡すことで、気を遣わせないようにするため。 ・毎月あげていると、相手もそのことがだんだん負担に思ってしまうかもしれないから。 ・自分に見返りを求めているわけではないから。 <p>【本当の思いやりとは・・・】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・相手に気付かれないようにする。 ・相手の立場になって考えて行動する。 ・相手の幸せを心から思っ行動する。 ・見返りを求めずに行うこと ・相手に気付かれずに行う「思いやり」があることを初めて知りました。 ・どうしたら相手のためになるのかを考えて行動することが「思いやり」なのかなと思いました。 	<ul style="list-style-type: none"> ・自分の意見をもちにくい子もいると考えられるので、友達と意見を交流する時間を設けることで、全員が自分の意見をもつことができるようにしたい。 ・ジョルジュじいさんの「おくり物」の渡し方を問うことで、相手の心情を考えた故の行動であることに気付かせたい。 <p>(評) 相手の心情を考えた故の行動であることに気付くことができたか (ノート、発言)。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「思いやり」に関する発言を、その都度取り上げて板書する。 ・周りの人でこんな「思いやり」をしてくれている人はいないか (家族など) 考えさせてもよい。 ・「思いやり」というキーワードを入れて感想を書かせる。 ・振り返りによって、今までの「思いやり」に対する価値観を、児童が深めることができているか読み取るようにする。 <p>(評) 「思いやり」について考えを深めることができたか (ノート)。</p>
---	--	---

3 実践を振り返って

- ・ジョルジュじいさんの立場でずっと考えさせたのがよかった。
- ・「相手に気付かれずにおくり物をする良さ」をグループごとにホワイトボードに意見をまとめた後に、子どもたちから出た言葉 (気を遣わせない、遠慮しないように、相手の邪魔をしないなど) で良さをまとめたのがよかった。そのことで、主発問である「本当の思いやり」を考えやすかったと思う。
- ・2時間計画で取り組んだため、「本当の思いやり」について、人に知られなくても何かをしてあげること、自分より相手のことを考えて行動することなどの深い意見が出ていた。

